



第4回 京都大学－慶應義塾大学グローバル COE 共催シンポジウム



トランスナショナルな 心・人・社会

京都大学「心が活きる教育のための国際的拠点」
慶應義塾大学「論理と感性の先端的教育研究拠点」

2011年 **1/9** 日 13:00～17:00
京都大学時計台記念館2階
国際交流ホール I & II

(http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/map6r_y.htm)



◆国際交流ホール I

13:00～17:00 ポスターセッション（責任在席時間15:00～15:30）

◆国際交流ホール II

13:00～13:15 ・子安 増生（京都大学GCOE拠点リーダー、京都大学大学院教育学研究科教授）
ご挨拶と趣旨説明

13:15～15:00 セッション I
司会者：山本淳一（慶應義塾大学文学部教授）

- ・佐治 伸郎（慶應義塾大学先端研究センター研究員）
「異なる語彙化パターンを持つ第二言語の習得：
日本語及び韓国語母語話者の中国語語彙習得を事例として」
- ・濱 雄亮（慶應義塾大学先端研究センター研究員）
「新療法の輸入と土着化：
糖尿病医療におけるカーボカウントを事例として」
- ・赤上 裕幸（京都大学大学院教育学研究科博士課程）
「越境する文化政策－満洲の映画教育政策を中心に－」

15:00～15:30 休憩（ポスターセッション）

15:30～17:00 セッション II
司会者：杉本均（京都大学大学院教育学研究科教授）

- ・杉浦 章介（慶應義塾大学経済学部教授）
「トランスナショナル化とパワーの変質」
- ・内田由紀子（京都大学こころの未来研究センター助教）
「幸福感と対人関係の文化的基盤：日米比較文化研究からの視点」

連絡先：杉本 均 sugimoto.hitoshi.6n@kyoto-u.ac.jp